

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	(一財)札幌市交通事業振興公社	所管課	交)総務課
基本財産	30,000千円	記入者	担当 日向 電話 011-896-2708
設立年月日	昭和63年(1988年)11月1日	本市出資額	10,000千円 (出資割合 33.3%)
設立・出資目的	札幌市の交通問題に対する市民の意識の啓発、交通道德の普及、札幌市が行う交通事業の利用者の便益増進に関する事業等を行うことにより、交通事業の健全な発展を図り、もって公共の福祉の増進に資することを目的として設立した。	出資年月日	昭和63年(1988年)11月1日
沿革	昭和63年 左記設立目的により設立 平成12年 地下鉄駅業務の委託開始 平成22年 市の出資金割合引き下げ(100%→50%) 平成24年 一般財団法人へ移行 令和2年 軌道運送事業開始	代表者	理事長(常勤) 藤井 透(市OB)
主な出資者	① 札幌市 (33.3%) ② (一財)札幌市交通事業振興公社 (66.7%) ③ ④ ⑤ ⑥	団体所在地	〒060-8614 札幌市中央区大通西5丁目 地下鉄大通駅西側コンコース内 電話 011-251-0821

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 公益目的実施事業 (7ページ)	② 受託事業(地下鉄駅業務) (8ページ)
交通問題に対する市民の意識を啓発し、交通道德等を普及させるために、市営交通への市民理解と愛着をより一層深め、市営交通のさらなる利用促進を目的とした事業を行う。	地下鉄の運行における運転業務及び運転指令業務と密接に連携しながら、利用者の駅における安全・安心の確保、円滑な誘導、その他の付随的業務を含め、駅業務全般を通して大量交通輸送機関としての使命を果たす事業を行う。
③ 受託事業(地下鉄駅業務以外) (9ページ)	④ 収益事業 (10ページ)
市営交通利用者の利便性向上を目的に、市営交通の情報提供、利用促進、PR等を行う。	市営交通利用者の便益増進を図りつつ、市営交通の情報提供、利用促進、PR等を行う独自事業を展開していくための財源を確保する。
⑤ 軌道運送事業 (11ページ)	⑥
本市の公共交通ネットワークの一翼として、路面電車の安全で、安定した運行事業を行うことを通じ、本市の交通事業の健全な発展に貢献する。	
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合	99.9% (主要事業支出合計 5,790,506千円 ÷ 総支出 5,795,676千円)
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	各事業を通じて、札幌市の交通問題に対する市民の意識の啓発、交通道德の普及、交通事業の利用者の便益増進や交通事業の効率化が図られ、一定の効果が出ているものの、更なる利用者の便益の増進や交通事業の健全な発展を図るため、事業の効率化に取り組み、効果を高めていく必要がある。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	路面電車の安定運行は当然のことながら、新型コロナウイルスの感染拡大による減収や電気料金・資材価格等の高騰による経費の増加、輸送の安全・安心に対する社会的意識・関心の高まり等、市営交通を取り巻く環境は変化を続けており、これらに対応するため、それぞれの事業について適宜見直しを行う必要がある。

## 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成				役員任期	
役員					9	10歳代	3	40歳代	306	理事長	2年
常勤理事	2	-	-	-		20歳代	95	50歳代	95	監事	4年
常勤監事	-	-	-	-		30歳代	181	60歳代	0	代表権のある役員 の就任年月	
非常勤理事			5			平均年齢		39.9 歳		理事長	2018/4/1
非常勤監事			2							副理事長	-
職員					736	職員総数の推移(人)					
常勤管理職		11	7			R03.4.1時点	732				
常勤一般職		24	673	21		R04.4.1時点	737				
非常勤職員											

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区 分			R3年度決算	R4年度決算	(経常収益比)	(前年比)	
財務状況	正味財産増減計算書	経常増減	経常収益(a)	5,380,981	5,789,671	(100.0%)	(+408,690)
			経常費用(b)	5,352,423	5,795,676		(+443,253)
			うち管理費等(c)	108,880	115,612	(2.0%)	(+6,732)
			うち人件費(d)	3,808,858	3,873,078	(66.9%)	(+64,220)
			当期経常増減額(e)	28,558	▲ 6,005		(▲ 34,563)
			当期正味財産増減額(f)	▲ 1,387	13,636		(+15,023)
	貸借対照表	資産(g)	流動資産(h)	1,526,393	1,523,383		(▲ 3,010)
			固定資産(i)	93,166	112,805		(+19,639)
			うち基本財産(j)	30,000	30,000		(0)
			負債(k)	1,120,044	1,125,538		(+5,494)
		流動負債(l)	流動負債(l)	1,120,044	1,125,538		(+5,494)
			固定負債(m)	0	0		(0)
			正味財産(n)	499,515	510,650		(+11,135)
		借入金残高(o)	0	0		(0)	

#### R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
a	軌道運送事業における乗車料収入として、路面電車運賃無料デーに係る事業補助金収益を含み約2億8,400万円増収したため。 (R3年度乗車料収入1,138,301千円、R4年度乗車料収入1,423,182千円)
b	札幌市に支払う施設使用料の増加及び電気料金が増加したため。 (R3年度施設使用料449,446千円、R4年度施設使用料737,933千円)

※詳細は、別添の貸借対照表、正味財産増減計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区 分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	407,341	442,138	(+34,797)
市委託料	3,677,159	3,731,200	(+54,041)
市業務委託料	3,677,159	3,731,200	(+54,041)
うち随意契約	3,677,159	3,731,200	(+54,041)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額			(0)
うち市業務委託分			(0)
再委託率			(0)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-j)	469,515	480,650	(+11,135)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷g)	30.8%	31.2%	(+0.4%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(h÷l)	136.3%	135.3%	(▲0.9%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(i÷n)	18.7%	22.1%	(+3.4%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(o÷g)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	7,351千円	7,856千円	(+505千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	70.8%	66.9%	(▲3.9%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	149千円	157千円	(+8千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	2.0%	2.0%	(▲0.0%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	75.9%	72.1%	(▲3.8%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	75.9%	72.1%	(▲3.8%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い	<input type="checkbox"/> 高い	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね健全	<input type="checkbox"/> やや低い	<input type="checkbox"/> 低い
理由	健全性に係る指標については、剰余金、自己資本比率が前年度比で増加しているが、流動比率が前年比でわずかに低下しているほか、固定比率は評価基準は満たしているものやや増加している。生産性に係る指標については、職員一人当たり管理費が前年度比微増となったほかは、前年度比改善又は前年度同等となっている。全体としては、債務超過、累積欠損の状態にはなく、概ね良好な状況である。 自立性については、市依存度及び市財政的関与割合ともに前年比で減少傾向が続いており、徐々に自立性が高まってきている状況である。					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1) 出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○出資比率の見直し						
①	市出資比率	目標	<del>12,500千円</del>	12,500千円	10,000千円	7,500千円
		実績	15,000千円	12,500千円	10,000千円	
		評価		達成	達成	
②		目標	<del></del>			
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (2) 人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○						
①	市派遣職員数	目標	<del>45人</del>	45人	41人	36人
		実績	53人	45人	40人	
		評価		達成	達成	
②	市職員の理事就任数	目標	<del>1人</del>	1人	1人	1人
		実績	1人	1人	1人	
		評価		達成	達成	
③	市職員の評議員就任数	目標	<del>2人</del>	2人	2人	2人
		実績	2人	2人	2人	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

(3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○路面電車沿線地域や商業者団体等との連携							
①	タイアップ企画数	目標		2回	2回	6回	直近2年間の実績を踏まえ、R5の目標値を2回から6回に変更する。
		実績		3回	9回		
		評価		達成	達成		
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○利用者の交通問題に対する意識の啓発に関する事業の推進							
①	事業の実施回数	目標		5回	5回	5回	
		実績	5回	4回	5回		
		評価		未達成	達成		
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○利用者の便益増進に関する事業の推進							
①	情報誌等発行種類	目標		4種類	4種類	4種類	
		実績	4種類	4種類	4種類		
		評価		達成	達成		
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

(4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○中期経営計画の推進						
①	次期中期経営計画の推進	目標		検証・見直し	検証・見直し	検証・見直し
		実績	策定	検証・見直し	検証・見直し	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考	
No.	指標名						
○自主事業の積極的な実施による団体の自立性の向上							
①	軌道運送事業における乗車料収入	目標		970百万円	1,137百万円	1,357百万円	コロナ禍が続いたため、R5の目標値を分析・推計からR5年度乗車料収入予算値に変更する。
		実績	1,051百万円	1,138百万円	1,423百万円		
		評価		達成	達成		
②		目標					
		実績					
		評価					
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）							

(5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○コンプライアンスの徹底						
①	コンプライアンス研修の参加率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%	100%	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○職員研修の受け入れ						
①	職員研修参加率	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100%	100%	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

(6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○障がいのある方の自立支援						
①	障がい者就労施設からの物品調達や業務委託件数	目標		4件	4件	4件
		実績	5件	2件	3件	
		評価		未達成	未達成	
②	障がいのある方の雇用人数	目標		15人	15人	15人
		実績	8人	13.5人	16.5人	
		評価		未達成	達成	
③	サービス介助士の取得率及び有資格者数	目標		100%	100%	100%
		実績	100%	100% (112名)	100% (115名)	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
①R3年度に作成した物品をR4年度も継続して使用したほか、2回目の封筒作成時期が重なったため、一括で依頼したことによるもの。今後も関係法令の趣旨を鑑み、物品の調達をしていく。						

8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報	
ホームページアドレス	<a href="https://www.stsp.or.jp/">https://www.stsp.or.jp/</a>
Eメールアドレス	<a href="mailto:stsp@stsp.or.jp">stsp@stsp.or.jp</a>
<p>【経営状況等】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 定款    <input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿    <input checked="" type="checkbox"/> 団体機構図    <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画書    <input checked="" type="checkbox"/> 予算書  <input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書    <input checked="" type="checkbox"/> 決算書    <input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画 </p> <p>【事業情報等】</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報    <input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報  <input checked="" type="checkbox"/> その他（オリジナルグッズ販売等） </p>	
ホームページ以外の情報媒体	
広報誌・冊子の発行：タウン情報誌「ウィズユー」、「市営交通ご利用ガイド」、「市電路線図」、「駅周辺地図」	

※特記ない限り、本評価シートの情報は令和5年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) 公益目的実施事業

1. 事業概要	事業所管課： 交通局事業管理部総務課	担当： 日向	電話： 011-896-2708
(1)事業内容	公益目的支出計画に基づき、公共の福祉の増進に資することを目的として実施する事業 (1) 札幌市の交通問題に対する市民の意識の啓発及び交通道德等の普及啓蒙に関する事業 ・市電フェスティバルの開催 ・地下鉄・路面電車子ども絵画展の開催 ・乗客マナーポスターの作成 ・地下鉄・路面電車子ども交通教室の開催 等 (2) 交通事業の利用者の便益増進に関する事業 ・タウン情報誌「ウィズユー」の発行 ・地下鉄・路面電車ご利用ガイドの作成 等 (3) 交通事業の記念物及び資料の保存並びに公開に関する事業 ・交通資料館の管理 等		
(2)事業目的	交通問題に対する市民の意識の啓発、交通道德等の普及に関する事業等を行うことにより、自家用車等から公共輸送機関への転換を促す等、札幌市の交通事業の健全な発展を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。		
(3)事業開始	昭和63年(1988年) 11月1日		

## 2. 実施結果

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位：千円)	収入(経常収益比)	0 ( 0.0% )	0 ( 0.0% )	(0)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	14,910	15,629	(+719)	
	事業費	14,475	15,167	(+692)	
	管理費等	435	462	(+27)	
収支差	▲ 14,910	▲ 15,629	(▲ 719)		
収支比率	0.00%	0.00%	(0)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	「交通問題に対する市民の意識の啓発及び交通道德の普及啓蒙に関する事業」実施件数	4	5	5	5
②	「交通事業の利用者の便益増進に関する事業」実施件数	4	4	4	4
③	「交通事業の記念物及び資料の保存並びに公開に関する事業」実施件数	0	2	1	2
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	市電フェスティバルWEB版再生回数	未実施	実開催	実開催 (4,440名)	実開催 (5,500名)
②	地下鉄・路面電車子ども絵画展作品応募数	545	550	537	550
③	地下鉄・路面電車子ども交通教室の動画再生回数	15,000回	実開催	実開催 (86名)	実開催 (120名)
④	交通資料館に関するイベントの実施	未実施	実開催	実開催 (3,016名)	実開催 (6,000名)
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない 当事業は、札幌市の交通事業の健全な発展を図り、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的として、広報啓発イベントの実施、市営交通情報案内冊子の作成及び交通資料館の管理運営等を自主的に行うものであり、市営交通の利用促進に大きく寄与している重要な事業である。 令和4年度は、コロナ禍により未実施となっていた「市電フェスティバル」、「子ども交通教室」及び「交通資料館inチカホ」について、3年ぶりに実開催として実施され、市営交通利用に関する情報媒体の作成等と併せ、市営交通のPRや利用促進、利用者の便益増進に寄与したと評価できる。今後も市営交通利用促進策の一端を担う重要な事情として、より一層の効率的かつ効果的な事業展開を進めていくことが必要である。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善 当事業は、一般財団法人への移行に伴う公益目的支出計画に基づき実施している事業であるが、効率的かつ効果的な事業展開を進めることで、事業効果を出しつつ適切な執行管理を行っている。今後も、社会情勢を踏まえつつ、引き続き同計画に沿って効率的かつ効果的な事業展開を進めていく。

## 事業評価 ( 2 ) 受託事業 (地下鉄駅業務)

1. 事業概要	事業所管課： 交通局高速電車部業務課	担当： 南	電話： 896-2744
(1)事業内容	駅業務全般 (ホームの巡回・整理、可動式ホーム柵の取扱い、列車等の運行及び旅客の安全確保、事故・異常発生時の早期復旧及び附帯事故防止等、駅構内巡回点検、旅客の案内、自動出改札装置及び券売機等の取扱い、乗車料金の収納、乗車券の販売・管理、駅構内の急病人対応、車いす利用者介護、遺失物の取扱い)		市委託料(随意契約) 3,238,830
(2)事業目的	地下鉄の運行における運転業務及び指令業務と密接に連携しながら、地下鉄利用者の駅における安全・安心の確保、円滑な案内に努め、その他の付随的業務を含め駅業務全般を通して、大量交通輸送機関としての使命を遂行する。		
(3)事業開始	平成12年(2000年) 4月1日		

### 2. 実施結果

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	
(1)事業収支 (単位：千円)	収入(経常収益比)	3,187,359 ( 59.2% )	3,238,830 ( 55.9% )	(+51,471)	
	市補助金・交付金・負担金	0	0	(0)	
	市業務委託料	3,187,359	3,238,830	(+51,471)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	3,161,316	3,207,927	(+46,611)	
	事業費	3,097,061	3,144,259	(+47,198)	
	管理費等	64,255	63,668	(▲ 587)	
収支差	26,043	30,903	(+4,860)		
収支比率	100.82%	100.96%	(+0.14%)		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	車イス対応件数	28,473	30,000	35,900	38,000
②	訓練参加人数	1,092	1,184	1,240	1,280
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	財団への苦情件数	152	140	104	94
②	財団への謝辞件数	167	180	182	190
③	乗車人員	478,600	504,000	552,200	630,000
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	平成20年度から地下鉄全49駅を業務委託している当該団体は、交通事業に関する高い専門知識と豊富な業務経験を有しており、事故や不測の事態等の発生時の迅速な対応を行っていることや、定期訓練等による事故防止等にも努めており、安全な輸送の確保に寄与している。また、ICカード乗車券の新たな運用等、高い専門知識を要する業務にも即座に対応することができ、円滑な旅客サービスの実現にも寄与している。 上記成果指標において、苦情件数が大きく減少していることから、公社の活動の成果が表れているものと考えられるが、依然として旅客対応に関する苦情も多くあることから、旅客サービスについて改善の余地はあるものとする。 今後も適正な人員配置や職責に応じた研修の実施による個々人の資質の向上等を図り、これまで以上に質の高い事業を実施することにより、乗車人員の回復に寄与することが期待される。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	前年度に比べて収支比率が上昇しており、収支もプラスである。 収支の黒字化を維持するために、引き続き経費の節減に取り組んでいく。



## 事業評価 ( 3 ) 受託事業 (地下鉄駅業務以外)

1. 事業概要	事業所管課： 交通局事業管理部営業課	担当： 千葉	電話： 011-896-2706
(1)事業内容	地下鉄業務に付属する事業 ・定期券発売業務 ・遺失物管理業務 ・乗車券等作成管理業務 ・乗車券発売業務 ・広告管理・乗客誘致業務		市委託料(随意契約) 492,370
(2)事業目的	これらの業務は地下鉄事業との関連性が極めて強く、専門的な知識と経験が必要となる業務であることから、一体的に行うことにより、効率的に一定水準以上かつ均一のサービスを提供し、お客様の利便性向上を図る。		
(3)事業開始	昭和63年(1988年) 11月1日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位: 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		489,800 ( 9.1 % )	492,370 ( 8.5 % )	(+2,570)
市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		489,800	492,370	(+2,570)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入 (補助金除く)		0	0	(0)	
その他収入		0	0	(0)	
費用 (支出)		479,656	490,504	(+10,848)	
事業費		469,904	480,753	(+10,849)	
管理費等		9,752	9,751	(▲ 1)	
収支差		10,144	1,866	(▲ 8,278)	
収支比率		102.11%	100.38%	(▲ 1.73%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 定期券発売所取扱枚数		314,270枚	358,000枚	325,409枚	371,000枚
② 交通案内センター対応件数		35,044件	35,000件	35,432件	35,000件
③ 磁気情報入力及び乗車券作成枚数		97,280枚	55,000枚	31,800枚	77,000枚
④ 広告管理業務取扱件数		12,485件	14,000件	11,598件	14,000件
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 定期券輸送人員		60,284千人	69,000千人	69,313千人	79,000千人
② 定期券ICカード比率		96.1%	96%	96.6%	96%
③ イベント参加人数 (乗客誘致)		0	5,700人	9,323人	9,500人
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	活動指標①、②、④については、一部、R4年度目標を下回るものもあったものの、概ねR3年度実績並みの水準であった。活動指標③については、R4年度目標及びR3年度実績を大きく下回ったものの、過年度の在庫から賄う部分が多かったことによる作成枚数の減であることから、問題ないものとする。 成果指標については、いずれもR4年度目標及びR3年度実績を上回る結果となった。特に、成果指標③については、コロナの影響によりR3年度までイベントの実施が困難であったところ、R4年度はコロナ前の水準(約5,000人)を大きく超える実績となっており、大きく成果が出ているものと評価できる。 以上を踏まえ、事業目的に対して事業の効果が十分に出ていると評価したい。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	収支比率は前年度比でマイナスとなったものの、100%を超えており、委託料の範囲内で適切に業務を遂行していると評価する。

## 事業評価 ( 4 ) 収益事業

1. 事業概要	事業所管課： 交通局事業管理部総務課	担当： 日向	電話： 011-896-2708
(1)事業内容	市営交通利用者の便益増進を図りつつ、市営交通の情報提供、利用促進、PR等を行う独自事業の財源を確保するための事業 ・自動販売機事業 ・コインロッカー事業 ・パークアンドライド駐車場事業（8か所） ・オリジナルグッズ等販売		
(2)事業目的	市営交通利用者の便益増進を図りつつ、市営交通の情報提供、利用促進、PR等を行う独自事業を展開していくための財源を確保することを目的とする。		
(3)事業開始	昭和63年(1988年) 11月1日		

### 2. 実施結果

(1) 事業収支 (単位：千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		99,242 ( 1.8 % )	124,544 ( 2.2 % )	(+25,302)
市補助金・交付金・負担金		0	0	(0)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入 (補助金除く)		99,242	124,544	(+25,302)	
その他収入		0	0	(0)	
費用 (支出)		81,945	84,793	(+2,848)	
事業費		80,320	83,072	(+2,752)	
管理費等		1,625	1,721	(+96)	
収支差		17,297	39,751	(+22,454)	
収支比率		121.11%	146.88%	(+25.77%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 収益事業実施件数		4事業	4事業	4事業	4事業
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 自動販売機事業収入 (単位：千円)		41,880	49,759	48,499	53,630
② コインロッカー事業収入 (単位：千円)		18,146	17,635	32,162	29,502
③ 駐車場事業収入 (単位：千円)		37,136	41,532	40,667	40,263
④ オリジナルグッズ等販売収入 (単位：千円)		2,080	2,621	3,217	2,787
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input checked="" type="checkbox"/> 十分出ている <input type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  令和4年度は、いずれの事業についても前年度実績を上回った。「自動販売機事業収入」及び「コインロッカー事業収入」については地下鉄利用人員の影響が大きく、「オリジナルグッズ等販売収入」については集客事業における販売の影響が大きいことから、行動制限の緩和による地下鉄利用人員の増等が寄与したものと考えられる。 今後も社会情勢を踏まえた利用実態の分析を行った上で、事業の見直しを行いつつ、更なる利便性の向上等の取組の検討を進め事業効果を高めていく必要がある。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  事業収入、収支差及び収支比率とも前年度から改善し、4事業合計の事業収入はほぼコロナ禍前の水準を回復している。当事業は、当団体の財源確保及び自主性を高めるための貴重な事業であることから、コスト(費用)を意識し、収支比率を高めることで収支改善に努めていく必要がある。

# 事業評価 ( 5 ) 軌道運送事業

1. 事業概要	事業所管課： 交通局事業管理部総務課	担当： 駒田	電話： 011-896-2708
(1)事業内容	路面電車の運送事業者として、札幌市の交通事業の健全な発展に貢献するために行う事業。 (1) 路面電車の運行に関する業務 札幌市交通局が保有する軌道施設及び車両を借り受け、旅客運送事業 (2) 軌道施設及び車両の維持管理に関する業務 路面電車の運行に関する業務で使用する軌道施設（線路・電路）及び車両の維持管理業務 (3) 軌道運送事業に付随する業務 ・路面電車の車両及び軌道施設等を媒体とした広告販売業務 ・貸切電車を活用した企画の実施、企画乗車券の販売、沿線事業者と連携した促進策の実施  【市の関連事業名】 軌道整備事業		市負担金 443,459
(2)事業目的	札幌市軌道事業の上下分離方式の導入に伴い軌道運送事業者として、安全管理体制の確保と経営基盤の強化を図るとともに、札幌市のまちづくりへの活用や公共交通機関としての役割の維持を可能とし、路面電車を将来世代に継承する。		
(3)事業開始	令和2年（2020年）4月1日		

## 2. 実施結果

(1) 事業収支（単位：千円）	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入（経常収益比）		1,588,842 ( 29.5% )	1,912,004 ( 33.0% )	(+323,162)
市補助金・交付金・負担金		407,341	442,139	(+34,798)	
市業務委託料		0	0	(0)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入（補助金除く）		1,181,501	1,469,865	(+288,364)	
その他収入		0	0	(0)	
費用（支出）		1,611,815	1,991,653	(+379,838)	
事業費		1,579,092	1,952,076	(+372,984)	
管理費等		32,723	39,577	(+6,854)	
収支差		▲ 22,973	▲ 79,649	(▲ 56,676)	
収支比率		98.57%	96.00%	(▲ 2.57%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 乗客誘致事業の実施件数		7件	4件	10件	8件
② 札幌市交通局と共同で行う安全及び経営に係る会議の開催回数		8回	6回	6回	6回
③ 安全に係る会議等の開催回数		15回	16回	16回	16回
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
① 乗車料金収入（単位：百万円）		1,138	1,137	1,423	1,357
② 広告料収入（単位：百万円）		43	51	46	55
③					
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1) 事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない  ・新型コロナウイルス感染症の影響が続く厳しい経営状況下においても、収入増や利用者サービスの向上に資する新規事業等を推進したところ、広告料収入は改善したが、乗車料収入は依然として計画を下回っている。経営基盤の強化に向けて、より一層の経営改善策の検討が求められる。 ・当局から公社への技術継承を計画通りに実施し、安全に係る会議も予定通りに開催した。引き続き、運送事業を着実に実施し、公共交通機関としての役割を維持するため、安全管理体制の継続に係る取組を行っていくことが必要になる。
(2) 収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善  新型コロナウイルス感染症の影響に伴い大きく減少した乗車料収入については、乗客誘致策による乗車人員の増加や、SAPICAポイント付与率の見直しなどにより徐々に回復しているが、コロナ禍における働き方を含めたライフスタイルの変化などにより、当初計画値の水準には到達していない。加えて、昨今の電気料金的大幅値上げや資材価格・労務単価の上昇により経費が高騰していることから、令和4年度についても、公社が当局に支払う施設使用料の減免により必要な支援を実施したところであるが、引き続き、上下（公社と当局）が緊密に連携し、更なる経営改善策を検討していく必要がある。

## 貸借対照表 【(一財)札幌市交通事業振興公社】

令和5年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	819,025,675	867,343,719	▲ 48,318,044
未収金	511,966,755	469,913,948	42,052,807
貯蔵品	185,948,675	184,689,976	1,258,699
前払費用	3,741,030	3,705,880	35,150
立替金	45,965	649,159	▲ 603,194
預け金	31,000	27,000	4,000
仮払金	2,624,497	63,130	2,561,367
流動資産合計	1,523,383,597	1,526,392,812	▲ 3,009,215
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2)その他固定資産			
建物	4,603,573	4,897,653	▲ 294,080
構築物	3	3	0
什器備品	455,545	576,998	▲ 121,453
電話加入権	147,784	147,784	0
商標権	477,442	538,392	▲ 60,950
ソフトウェア	750,173	2,762,843	▲ 2,012,670
繰延税金資産	76,370,069	54,242,119	22,127,950
その他固定資産合計	82,804,589	63,165,792	19,638,797
固定資産合計	112,804,589	93,165,792	19,638,797
資産合計	1,636,188,186	1,619,558,604	16,629,582
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	662,654,785	639,680,341	22,974,444
未払法人税等	2,025,300	9,082,900	▲ 7,057,600
未払消費税等	64,789,800	84,385,500	▲ 19,595,700
前受金	7,386,286	2,365,708	5,020,578
預り金	163,331,644	162,471,566	860,078
保証金	2,000,000	2,000,000	0
賞与引当金	223,350,079	220,058,193	3,291,886
流動負債合計	1,125,537,894	1,120,044,208	5,493,686
負債合計	1,125,537,894	1,120,044,208	5,493,686
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	10,000,000	12,500,000	▲ 2,500,000
指定正味財産合計	10,000,000	12,500,000	▲ 2,500,000
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(12,500,000)	(▲2,500,000)
2. 一般正味財産	500,650,292	487,014,396	13,635,896
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(17,500,000)	(2,500,000)
正味財産合計	510,650,292	499,514,396	11,135,896
負債及び正味財産合計	1,636,188,186	1,619,558,604	16,629,582

正味財産増減計算書 【(一財)札幌市交通事業振興公社】  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用益	【 39,000 】	【 39,000 】	【 0 】
基本財産受取利息	39,000	39,000	0
②事業収益	【 1,594,408,288 】	【 1,280,742,259 】	【 313,666,029 】
収益事業収益	124,543,773	99,241,755	25,302,018
軌道事業収益	1,469,864,515	1,181,500,504	288,364,011
③受託料収益	【 4,152,504,147 】	【 4,082,729,673 】	【 69,774,474 】
定期券発売等事業受託収益	377,464,000	379,218,000	▲ 1,754,000
販売促進等事業受託収益	57,062,000	54,810,000	2,252,000
広告業務等事業受託収益	57,844,000	55,771,890	2,072,110
地下鉄駅管理事業受託収益	3,238,830,000	3,187,359,310	51,470,690
軌道事業受託収益	421,304,147	405,570,473	15,733,674
④受取負担金	【 20,834,361 】	【 1,770,196 】	【 19,064,165 】
受取負担金	20,834,361	1,770,196	19,064,165
⑤雑収益	【 21,885,434 】	【 15,699,385 】	【 6,186,049 】
雑収益	21,885,434	15,699,385	6,186,049
経常収益計	5,789,671,230	5,380,980,513	408,690,717
(2) 経常費用			
①事業費	【 5,680,063,266 】	【 5,243,542,319 】	【 436,520,947 】
役員報酬	10,141,841	10,052,265	89,576
給料手当	2,871,549,916	2,826,040,846	45,509,070
賞与引当金繰入額	217,626,915	214,768,540	2,858,375
退職給付費用	172,535,900	170,925,000	1,610,900
福利厚生費	511,510,917	503,112,444	8,398,473
会議費	1,674	428	1,246
旅費交通費	3,852,995	2,618,020	1,234,975
通信運搬費	6,470,284	6,197,475	272,809
被服費	4,685,268	2,250,961	2,434,307
消耗什器備品費	2,982,832	2,226,611	756,221
消耗品費	20,906,099	19,953,574	952,525
修繕費	240,975,859	213,387,649	27,588,210
印刷製本費	10,167,894	11,513,083	▲ 1,345,189
燃料費	20,882,618	16,951,408	3,931,210
光熱水料費	128,611,176	104,146,844	24,464,332
賃借料	12,257,530	13,090,252	▲ 832,722
保険料	618,382	477,495	140,887
諸謝金	5,610,850	5,078,425	532,425
研修費	488,307	287,960	200,347
使用料	793,118,744	504,243,802	288,874,942
租税公課	378,715,650	376,248,050	2,467,600
委託費	227,433,479	202,004,795	25,428,684
広告宣伝費	2,435,502	2,253,892	181,610
事故費	5,400	87,765	▲ 82,365
支払手数料	29,695,479	28,992,436	703,043
減価償却費	2,390,322	2,548,562	▲ 158,240
雑費	4,391,433	4,083,737	307,696

科 目	当年度	前年度	増 減
②管理費	【 115,612,344 】	【 108,880,253 】	【 6,732,091 】
役員報酬	3,380,613	3,350,755	29,858
給料手当	63,941,506	58,756,571	5,184,935
賞与引当金繰入額	5,723,164	5,289,653	433,511
退職給付費用	3,346,700	3,172,000	174,700
福利厚生費	13,320,812	13,389,943	▲ 69,131
会議費	1,674	427	1,247
旅費交通費	273,105	156,880	116,225
通信運搬費	590,268	644,124	▲ 53,856
消耗什器備品費	101,667	130,260	▲ 28,593
消耗品費	1,502,429	1,478,992	23,437
修繕費	19,635	19,800	▲ 165
印刷製本費	347,050	462,550	▲ 115,500
光熱水料費	260,520	190,711	69,809
賃借料	2,581,039	2,198,106	382,933
保険料	490,700	392,675	98,025
諸謝金	4,797,650	4,726,425	71,225
研修費	201,655	139,520	62,135
使用料	200,259	200,642	▲ 383
租税公課	1,723,800	1,925,800	▲ 202,000
委託費	7,508,951	7,081,938	427,013
広告宣伝費	1,842,461	1,931,811	▲ 89,350
減価償却費	98,831	113,071	▲ 14,240
雑費	3,357,855	3,127,599	230,256
経常費用計	5,795,675,610	5,352,422,572	443,253,038
当期経常増減額	▲ 6,004,380	28,557,941	▲ 34,562,321
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金等振替額	2,500,000	2,500,000	0
保険金収益	0	223,000	▲ 223,000
経常外収益計	2,500,000	2,723,000	▲ 223,000
(2) 経常外費用			
棚卸資産評価損	456,402	662,551	▲ 206,149
寄付金返還額	2,500,000	2,500,000	0
損害賠償金	0	1,630,355	▲ 1,630,355
経常外費用計	2,956,402	4,792,906	▲ 1,836,504
当期経常外増減額	▲ 456,402	▲ 2,069,906	1,613,504
税引前当期一般正味財産増減額	▲ 6,460,782	26,488,035	▲ 32,948,817
法人税、住民税及び事業税	2,031,272	9,088,985	▲ 7,057,713
法人税等調整額	▲ 22,127,950	18,786,365	▲ 40,914,315
当期一般正味財産増減額	13,635,896	▲ 1,387,315	15,023,211
一般正味財産期首残高	487,014,396	488,401,711	▲ 1,387,315
一般正味財産期末残高	500,650,292	487,014,396	13,635,896
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	▲ 2,500,000	▲ 2,500,000	0
一般正味財産への振替額	▲ 2,500,000	▲ 2,500,000	0
当期指定正味財産増減額	▲ 2,500,000	▲ 2,500,000	0
指定正味財産期首残高	12,500,000	15,000,000	▲ 2,500,000
指定正味財産期末残高	10,000,000	12,500,000	▲ 2,500,000
III 正味財産期末残高	510,650,292	499,514,396	11,135,896